

平成29年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立錦城特別支援学校

学校長 宮本直哉

1 教育目標

人間尊重の理念に立ち、一人一人の児童生徒に対し、その能力や特性に応じた教育を行い、社会参加及び自立のため、仲良く、明るく、元気な人間の育成を目指す。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 加賀地区唯一の特別支援学校として、地域との連携が深まり児童生徒数は増加している。現在、在宅訪問教育、石川病院に分教室が設置され、さらに医療的ケアが必要な児童生徒に対して、看護師の配置がなされている。
- ② 知的障害に他の障害を併せ有する重度重複の子どもたちが入学し、複数の障害がある児童生徒への指導・支援が一層求められている。
- ③ 幅広い児童生徒の実態と12年間の一貫した円滑な学部間接続を勘案し、小学部・中学部・高等部はそれぞれ3類型、訪問・分教室はそれぞれ1類型の教育課程を編成し、体系的で効果的な指導・支援の充実を図っている。
- ④ 交流及び共同学習、よさこいソーラン、錦城ウォーキング・マラソン大会、作業学習製品の販売等の学習活動や専門相談員の派遣により、地域の理解と認識が深まり、幅広い支援・信頼を得ている。

(2) 児童生徒に関する中・長期的目標

- ① 基本的な生活習慣や豊かな心を身につけるとともに、他者とのコミュニケーション（人間関係）がとれる児童生徒を育成する。
- ② 体力・身体機能の維持、増進を図るとともに、物事に意欲的に取り組み、最後までがんばることのできる児童生徒を育成する。
- ③ 社会参加及び自立のために、児童生徒の基礎的な生活スキル・学力・働く力を向上させ、高等部卒業後の希望進路の実現を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 専門性を深める研究・修養に取り組み、保護者から信頼される。
- ② 常に授業改善と指導力向上に取り組み、児童生徒一人一人のニーズに対応した教育活動を展開する。
- ③ 地域の特別支援教育のセンター的役割を果たし、地域社会の教育力向上に貢献する。

3 今年度の重点目標

- (1) 児童生徒の主体性を引き出すための授業改善と専門性の向上を図る。
- (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路支援の充実を図る。
- (3) 児童生徒の健康維持、体力の増進に努める。
- (4) 地域との交流を促進し、情報を発信することにより、本校教育に対する理解啓発を図る。
- (5) いじめを見逃さない学校づくりをする。